



ソーシャルフットボールチーム LeGAME は絆を紡ぐ

和歌山県内初の「ソーシャルフットボールチーム」として 2023 年 6 月に設立された「LeGAME (レゲーム)」。

和歌山発のソーシャルフットボールチーム

「誰もが」「楽しく」をモットーに！

年齢・性別・病状や障がいの有無に関係なく「楽しみながら交流すること」で、人の居場所や生き甲斐を創出することを目的に活動しています。

また、フットボールを通じた共生社会の実現や、精神障がいおよび精神障がい者スポーツの普及啓発も行っていきます。

練習日	大会	選手
月に1回(毎週土曜日の午前中)を中心に、和歌山県内各地で開催されています。	日本ソーシャルフットボール協会主催大会や近畿圏内での合同大会、単独開催も行います。	男女混合で構成しています。試合の場には、男子のみの場合は男女別チームで、男女混合の場合は混合チームです。
参加費	参加資格	協賛金
3000円です。初回は2回目は無料！お車通で2回参加ください。	大会参加希望の方は、精神障がいの方(半額)や自立支援関係、主たる職業がNPO・NLDのメンバーに該当する必要があります。	個人・企業、法人様からの協賛金を募集しております。活動に賛同いただける方は、よろしくお問い合わせください。

LeGAME事務局
和歌山県海南市阪井488-1あすの実内(代表 中本)
TEL: 090-3704-0395 E-mail: legame.wakayama@gmail.com

設立の経緯、今後の目標などをチーム代表の中本さん、監督の田中さん、事務局の旭さんにおうかがいしました。

県下初の取り組み
レゲームは県内初めての、精神障がいのある方のフットサルチーム。就労支援事業所、医療機関などのスタッフのなかでも、精神障がいのある人がスポーツを楽しむ場を提供したいという気持ちが強かったといいます。ソーシャルフットボールが盛んな大阪からも「和歌山県内にもチームを」という声掛けがあったそうです。

ソーシャルフットボールで精神的安定へ
スポーツは精神疾患の治療に効果があるといわれています。体力がつき、精神的な安定にもつながり、生活に対する満足度が高まっています。参加者の満足と自信は希望にもつながっていきます。さらに、ソーシャルフットボールを通して地域との絆を強くしていくことは、精神障がいのある参加者にとっても「地域に認められている」という精神的な安定につながっていきます。

地域や多彩な人たちと絆を広げる
レゲームのみなさんは、地域の人たちとの間に、障がいのある無に問わずソーシャルフットボールをやってみよう！という意識が生まれてきたら、チームを立ち上げた目的の一つが達成すると考えています。

誰も取り残さない、社会の実現へ
レゲームに参加することで、心の病(精神的障がい)を持つ人が元気になる、レゲームのメンバーや関係者、そして地域社会とつながることで、精神的な絆が復活することが期待できる、といえます。

レゲームに集まり、絆を強く！
レゲームは、チームの実力アップはもちろん、和歌山県内でソーシャルフットボールのチームの立ち上げを支援しています。チームが県内で多数立ち上がっていくと、試合や合同練習などの機会を通じて切磋琢磨することができそうです。

レゲームに集まり、絆を強く！
レゲームは、チームの実力アップはもちろん、和歌山県内でソーシャルフットボールのチームの立ち上げを支援しています。チームが県内で多数立ち上がっていくと、試合や合同練習などの機会を通じて切磋琢磨することができそうです。

レゲームは、チームの実力アップはもちろん、和歌山県内でソーシャルフットボールのチームの立ち上げを支援しています。チームが県内で多数立ち上がっていくと、試合や合同練習などの機会を通じて切磋琢磨することができそうです。

レゲームは、チームの実力アップはもちろん、和歌山県内でソーシャルフットボールのチームの立ち上げを支援しています。チームが県内で多数立ち上がっていくと、試合や合同練習などの機会を通じて切磋琢磨することができそうです。



チームのみなさん



練習の様子



練習の様子



LeGAME WAKAYAMA
海南市阪井 488-1
あすの実内
https://www.instagram.com/legame_wakayama/

SDGs に興味があるけれども何をしたいかわからない そんな市民や企業のみなさまへ…

国連で採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」には興味や関心があるものの、何をしたいかわからない、そんな方もいらっしゃるのではないでしょうか。

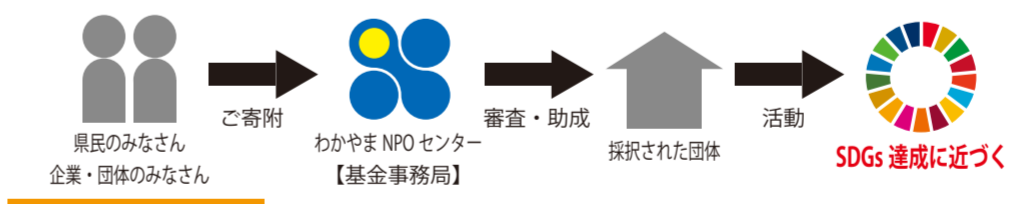
SDGs 達成に向けた取り組みを進めるには、「ご自身の社業や活動の一環で SDGs 達成に向けた取り組みを進める」という方法だけではなく、「SDGs 達成に向けた取り組みを直接的・間接的に支援する」という方法もあります。

「わかやま NPO パートナシップ基金」は、SDGs 達成に向けた取り組みを間接的に支援することで、市民や企業・団体のみなさんが SDGs 達成に寄与できる仕組みです。事務局を担当するわかやま NPO センターに寄附をお寄せいただきましたら、審査委員会を経て、県内で SDGs 達成に向けて取り組みを進めている各種団体に資金助成の形で応援します(寄附金は全額、助成金の原資として活用されます)。

今年、SDGs ゴール 14「海の豊かさを守ろう」、ゴール 15「陸の豊かさを守ろう」の達成に向けた活動を実施している団体が支援の対象となります。寄附という形で SDGs 達成に関与できるわかやま NPO パートナシップ基金」を是非ご活用ください。

- ◆本基金へのご寄附は、税制優遇の対象となります。個人の場合は確定申告によって所得税等の還付が受けられます。法人の場合は損金に算入できる寄附金限度額が拡大されます。
 - ◆集まったご寄附の額を元に助成事業枠を設定し、支援を希望する NPO・ボランティア団体の募集をおこないます。
- 現時点では 3 万円の助成を 10 団体を対象に実施する計画です。

活動の流れ



ご参加の方法

- ▶ 1口3,000円から受け付けます。現金によるお支払いのほか、銀行振込(振込手数料はご負担ください)、クレジットカード決済(振込手数料はかかりません)がご利用いただけます。
- ▶ 次年度以降も継続してご支援いただける場合は銀行口座からの自動引落、クレジットカードからの継続決済のご利用が可能です。詳しくはお問い合わせください。
- ▶ 寄附金は毎年1月～12月の12か月間でとりまとめ、翌年1月に税額控除等に「必要な事項を記載した「寄附金受領証明書」をお送りします。
- ▶ 事業の成果についてはウェブサイト等で公開します。

くわしくは専用ウェブサイトをご覧ください。クレジットカード決済によるご寄附申し込みフォームもございます(右下QRコードからアクセスできます)。

<https://congrant.com/project/wakayamanpoc/7170>

【運営】
認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12
TEL 073-424-2223 FAX 073-423-8355 E-mail info@wnc.jp
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】



和歌山 NPO・ボランティア推進協議会だより

なるこみ家庭菜園教室

日程 2月21日(水)
15:00～16:00

場所 なるこみ(和歌山市鳴神・宇都宮病院敷地内)

テーマ 有機栽培による野菜作り(個別相談の時間あり)

定員 10組
(事前申し込み必要)

参加費 500円(資料代)

主催 農業公園ふくろう
080-3850-7220
agri.agriculture.2022@gmail.com (西野さん)

備考 今後も定期的に開催予定です

このコーナーでは、和歌山 NPO・ボランティア推進協議会に所属している NPO・ボランティア団体から提供されたイベント等の情報を不定期にお届けしています。